

乾式安全器(逆火防止器)

アポロゴールドアレスターMK



GA-2MK
可燃ガス用
¥9,900円



GA-1MK
酸素ガス用
¥9,900円

交換の目安は、3年です。

アポロミニタックルAE型



ZOP-2AE
可燃ガス用
¥2,750円



ZOP-1AE
酸素ガス用
¥2,750円

吹管(切断器)



A切ゴールドライトⅡ
¥21,780円



中切ゴールドライトⅡ
¥17,380円

圧力調整器



セフティゴールドV
可燃ガス用
¥16,500



セフティゴールドV
酸素ガス用
¥16,500

交換の目安は、5年です。

交換の目安は、7年です。

乾式安全器の設置義務について

乾式安全器の必要性

- ガス事故の発生件数のうち「逆火」はいつもワースト3!
- 小さな逆火でも火災や人身事故につながる可能性があります。逆火の爆轟の威力は大変大きく、被害の拡大は予期しない結果を招きます。そのため人身の安全と社会的損害を防止するために「逆火防止装置」(乾式安全器)の設置が義務づけられています。

☆ 高圧ガス保安法 (一般高圧ガス保安規則 第60条13号イ)

溶接または熱切断用のアセチレンガスの消費設備には、逆火防止装置(乾式安全器等)を設けること!

☆ 高圧ガス保安法 (第24条5 消費の基準違反)

この規定に違反したものは、法第83条2号のさだめにより、30万円以下の罰金に処せられます。

☆ 労働安全衛生規則 (第310号)

ガス集合溶接装置(*)には、主管及び分岐管に安全器を設け、1つの吹管に対し安全器が2個以上になるよう設置すること。この場合安全器は水封式安全器だけでなく、乾式安全器も使用できます。(労働省告示第116号)

*可燃性ガス容器を10本以上又は水素及び溶解アセチレン容器の内容積が400リッター以上、その他の可燃性ガス容器は1000リッター以上集合した装置。

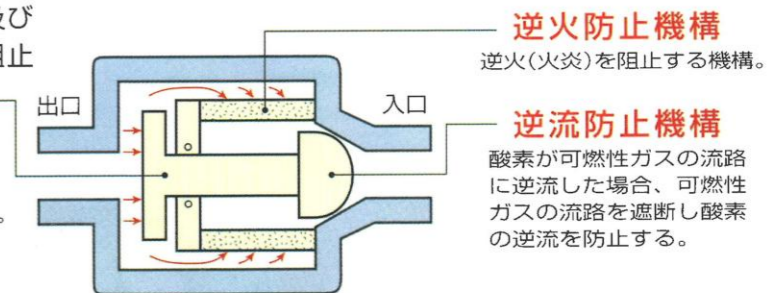


乾式安全器のしくみ

乾式安全器は、「逆火防止機構」「逆流防止機構」及び「遮断機構」から構成され、逆火、爆轟を完全に阻止します。

遮断機構

逆火が生じた場合可燃性ガスの流路を遮断し、可燃性ガスが再び供給されないようにするための機構。再使用するには復帰する必要があります。



逆火防止機構

逆火(火災)を阻止する機構。

逆流防止機構

酸素が可燃性ガスの流路に逆流した場合、可燃性ガスの流路を遮断し酸素の逆流を防止する。

乾式安全器はどんなものを買えばよいか

乾式安全器は、労働省産業安全研究所の技術指針「ガス溶接・切断作業用乾式安全器指針」に基づいて、(社)産業安全技術協会が行う依頼試験を受け、これに合格した製品(指針適合品)、または「アセチレン溶接装置の安全器及びガス集合溶接装置の安全器の規格」(労働省告示第116号)に基づいて、(社)産業安全技術協会が行う性能試験を受け、これに合格した製品(規格適合品)をご使用ください。



乾式安全器の定期点検

☆ 定期自主検査

ご使用いただいていますユーザー様では、1年に1回以上の定期自主検査を行って下さい。

☆ 再検査

3年に1回は、メーカーまたはメーカーの指定する事業所(者)で再検査を受けて下さい。詳細は、次のページの乾式安全器定期自主検査マニュアルをご覧ください。

